

令和6年度 福岡市職員研修基本計画

コロナ禍が明け、社会経済活動が回復に向けて大きく動き出す変革期にあって、人々の価値観や市民ニーズは多様化し、加速する少子高齢化や物価高騰への対応、自治体DXの推進やWell-being向上への取組みなど、本市を取り巻く環境は刻々と変化している。

このような状況に対応するためには、我々福岡市職員はいかなるときも、よりよいビジョンを描き、都市経営の基本戦略である“「都市の成長」と「生活の質の向上」の好循環”を福岡市にもたらすことを意識し、新たな行政サービスを構築、提供し続けなければならない。

そのためには職員一人一人が自ら考え行動し、個人の力を組織の力として最大限に発揮できるよう、更なる組織の活性化を図っていく必要がある。

人材育成においては、様々な変化にスピード感を持って対応できる職員を育成するとともに、市職員としての誇りを持ち、多くの行政課題の解決に向けて、前例にとらわれることなく果敢にチャレンジする高い志を持った人づくりが求められている。

令和6年度職員研修の実施にあたっては、「管理監督者マネジメント支援」「OJTの支援」「若手職員の育成」を重点取組み項目として位置付ける。

職員一人ひとりが新しい視点や考え方を取り入れ、自ら成長していくという意識を持てるよう、特定の個人に偏ることなく、多くの職員に研修の機会を提供するとともに、職員が自ら学び育つ組織風土づくりへの支援を進めていく。

令和6年度 重点取組み

次の3点を重点的に取り組みます。

1 管理監督者マネジメント支援

- (1) 課長研修において、戦略マネジメント力と組織マネジメント力の向上を支援します。
- (2) 係長を対象とした管理職（課長級）ウォームアップ研修を実施し、管理職に必要な考え方やスキル、心構えを昇任前に身に付けることで、昇任後の円滑な組織運営と人材育成を支援します。
- (3) 管理監督者を対象として、メンタルヘルスやワーク・ライフ・バランス、キャリア形成支援に関する研修を実施し、働きやすい職場環境づくり及び職員の意欲を向上させる人材育成を支援します。

2 OJTの支援

- (1) 「人材育成の基盤」と位置付けられるOJT (On The Job Training) を推進し、仕事を通じて職員の意識及び能力の向上を図る人材育成を支援します。
- (2) 新採職員を指導する職場トレーナー養成講座を実施し、両者の成長を促すとともに、管理監督者を対象としたOJTに関する選択研修を実施、職場全体での人材育成の活性化を支援します。

3 若手職員の育成

- (1) 社会経済情勢や市民ニーズの変化にスピード感をもって対応できる、多角的で柔軟な発想を持つ、福岡市を牽引する若手職員の育成を図ります。
- (2) タイムマネジメントや業務の効率化、キャリアデザインに関する研修や、民間人材等との交流を通じて高度な知識の習得を図る派遣研修を実施し、自ら考え、自らチャレンジする若手職員を育成します。